

# 平成27年度第58回福島県中学校体育大会 柔道競技大会要項

- 1 主催 福島県中学校体育連盟 福島県教育委員会 会津若松市教育委員会  
福島県中学校長会 公益財団法人福島県体育協会 福島県柔道連盟
- 2 後援 会津若松市
- 3 主管 会津地区中学校体育連盟
- 4 期日 平成27年7月22日(水)～24日(金)  
22日(水) 監督会 14:30～ 鶴ヶ城体育館  
23日(木) 開始式 9:00～ 〃  
競 技 9:30～ 団 体 戦  
24日(金) 競 技 9:15～ 個 人 戦
- 5 会 場 鶴ヶ城体育館(会津若松市城東町14番51号)
- 6 参加資格 (1) 福島県中学校体育連盟に加盟の学校に在学している生徒で、当該競技要項により大会参加資格を得た代表チーム(同一校)及び代表選手で、校長が参加を認めた者とする。  
(2) 過年齢生徒の参加については、体力的、技術的要因が大きく関わると考え、満16歳に達した年度まで出場できるものとする。
- 7 引率・監督 (1) 参加生徒の引率者・監督は出場校の校長・教員とする。  
(2) コーチについては、当該校長が認めた者とする。校長・教員以外のコーチについては、所定の様式に従い「コーチ承認書」を参加申込と同時に提出する。(予選大会と同一コーチに限る。)ただし、当該校以外の中学校教職員・校長の外部コーチとしてのベンチ入りは認めない。
- 8 参加人員 (1) 団体戦 男女各地区2チームとする。ただし、開催地区+1、次年度開催地+1、専門部推薦枠2とする。最大出場枠は3。  
(専門部推薦枠は、前年度県総合大会結果による。)  
(2) 団体戦のチーム人員、編成について  
① 男子は監督1、コーチ1、選手5、補欠3、計10名以内、  
女子は監督1、コーチ1、選手3、補欠3、計8名以内とする。  
② チームの編成は、体重の重い者を大将とし、以下体重順に編成する。  
③ 試合ごとの選手の位置を変えることはできない。また、選手の補充は認めない。  
(3) 個人戦 下記の男子8階級、女子8階級で行い、各地区男女各階級とも4名とする。

【男 子】	【女 子】
50kg級(50kg以下)	40kg級(40kg以下)
55kg級(50kgを超えて55kg以下)	44kg級(40kgを超えて44kg以下)
60kg級(55kgを超えて60kg以下)	48kg級(44kgを超えて48kg以下)
66kg級(60kgを超えて66kg以下)	52kg級(48kgを超えて52kg以下)
73kg級(66kgを超えて73kg以下)	57kg級(52kgを超えて57kg以下)
81kg級(73kgを超えて81kg以下)	63kg級(57kgを超えて63kg以下)
90kg級(81kgを超えて90kg以下)	70kg級(63kgを超えて70kg以下)
90kg超級(90kgを超える者)	70kg超級(70kgを超える者)

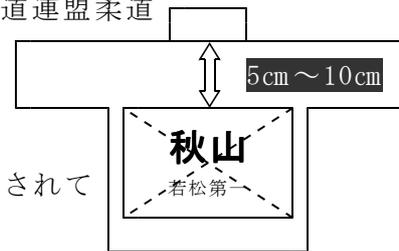
- (4) 個人で欠損が生じた場合は、専門委員長会議で補充を決定する。

## 9 競技規定

- (1) 「国際柔道連盟試合審判規定・少年大会申し合わせ事項」による。
- (2) 優勢勝ちの判定基準は次の通りとする。
  - ① 団体試合の個々の試合においては、「有効」以上又は「僅差（「指導」の差2以上）」とする。優劣の成り立ちは以下の通りとし、それに満たない場合は「引き分け」とする。  

「一本」＝「反則勝ち」＞「技有り」＞「有効」＞「僅差」

  
 チーム間の内容が同等の場合は、任意の選手による代表戦を行う。（但し、予選リーグにおいては代表戦を行わず、「引き分け」とする。）代表戦の判定基準は個人試合と同様とし、得点差がない場合は、延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。
  - ② 個人試合は、「有効」又は「指導1」以上とする。得点差がない場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。
- (3) 試合時間は、団体試合・個人試合とも3分間とする。延長戦（ゴールデンスコア）は無制限とする。
- (4) 柔道衣は白色とし、（公財）全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣・下穿き・帯）を着用すること。なお、今年度までは旧規格の帯の着用も認める。女子の黒帯は白線入りとする。
- (5) （財）講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。
- (6) ゼッケンの着用（例を参照）  
 柔道着にゼッケン（学校名・名字入り）を縫いつけて出場すること。
  - ① 布地は白色
  - ② 名字（姓）は上側2／3
  - ③ 学校名は下側1／3
  - ④ 書体は太字ゴシック体・明朝体、男は黒色、女は赤色
  - ⑤ サイズは、（横30～35cm・縦25～30cm）
  - ⑥ 縫いつける場所は後襟から5～10cm下部に縫い付ける。対角線にも強い糸で縫いつける。
- (7) 女子のアンダーシャツ（半袖Tシャツ）は丸首、白無地とする。ワンポイント・バックプリントも認めない。
- (8) 「試合場におけるコーチの振る舞いについて」、「脳震盪対応について」を適用する。安全対策（脳震盪対応について）は以下のとおりとする。
  - ① 大会前1ヶ月内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
  - ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。（なお、至急、専門医の精密検査を受けること。）



## 10 競技方法

- (1) 団体戦はリーグ・トーナメント戦とする。
  - ① 2つのチーム間における対抗方式は、男子1チーム5人、女子1チーム3人による紅白点取り方式で行う。
  - ② リーグ戦における順位は、次の順によって決定する。
    - ア チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。
    - イ アにおいて同等の場合は、勝ち数の合計による。
    - ウ イにおいて同等の場合は、勝ちの内容により決定する。
    - エ ウにおいて同等の場合は、負け数の合計による。
    - オ エにおいて同等の場合は、負けの内容により決定する。
    - カ オにおいて同等の場合は、1名による代表戦を1回行い、決勝トーナメント出場チームを決定する。（3校同等の場合は、代表者3名によるリーグ方式を行う。）
  - ③ トーナメント戦の勝敗は、次の順によって決定する。
    - ア チーム間における勝ち数による。

イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。

ウ イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。

(2) 個人戦は、トーナメント戦で行う。

- 11 表 彰 (1) 団体優勝チームには、男女とも優勝旗（持ち回り）を授与する。  
(2) 団体戦、個人戦とも、男女の1位～3位（4チームまたは4名）までに、賞状とメダルを授与する。（団体戦は登録選手全員）
- 12 参 加 料 1名 1,000円とする。  
（団体戦・個人戦ともに参加する選手については重複して納入しない。）
- 13 参 加 申 込 (1) 各学校は、参加申込書一式、参加料、参加記念章代、プログラム代を地区中体連専門委員長へ一括申し込む。  
(2) 各地区中体連専門委員長は、各校からの申込書類ならびに現金を確認の上、県競技部事務局へ提出する。  
(3) 県競技部事務局は、抽選会時に申込書類ならびに現金を集約する。
- 14 宿 泊 (1) 大会に参加し宿泊を要する出場校は、適切な危機管理対応（感染症・自然災害等）を確保するため、宿泊申込書を必ず開催地大会事務局指定の業者に提出する。（指定外の宿泊施設の利用は、原則として認めない。）  
(2) 大会役員は大会事務局、競技役員は配宿は、競技事務局で行う。  
(3) 宿泊料金は、平成27年度福島県スポーツ団体標準宿泊料金表中学生による。
- 15 そ の 他 (1) 開始式・閉会式には、選手全員が参加することを原則とする。  
(2) プログラムは有料とし、1冊800円で販売する。  
(3) 参加記念章は、1個350円で販売する。  
(4) 東北大会の出場について、団体戦は男子は第3位までの上位4チーム、個人戦は男子、3位までの4名、女子は、団体戦、個人戦とも上位2チーム、2名が出場権を得る。  
(5) 全国大会への出場については、男女とも団体戦は、優勝校1チーム、個人戦は各階級とも第1位の1名が出場権を得る。  
(6) 大会日程について  
① 1日目 10:00 開場  
11:00～15:00 公式練習  
12:00～14:00 団体計量・服装検査  
14:30～ 監督会議  
② 2日目 8:15～ 8:30 男女団体服装検査(再検査の者のみ)  
9:00～ 開始式  
9:30～ 競技  
13:00～14:00 男女個人戦非公式計量  
団体閉会式終了後1時間（1回のみ）男女個人戦計量・服装検査  
③ 3日目 8:00～ 8:30 男女個人戦(再計量・再検査のみ)  
9:00～ 開始式  
9:15～ 男女個人戦  
(7) 監督、コーチは審判に準ずる服装とする。（ネクタイ着用）  
(8) 大会期間中の負傷・疾病については、応急処置のみ実施する。大会参加者は、健康保険証を持参することが望ましい。

- 16 連 絡 先 県 専 門 部 委 員 長 星 有 為 （小名浜二中：0246-54-7455）  
開 催 地 区 専 門 部 委 員 長 秋 山 秀 士 （若松一中：0242-24-2277）